

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

音戸中学校区 校番 29 学校名 波多見小学校

a 学校教育目標	小中一貫教育目標 夢をもち 自ら動き たくましく生活する児童生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) ふるさとを愛し、自律できる人材を育成し、地域社会の活性化に貢献する <ビジョン>(将来の学校像) 自分がすき！友達がすき！学校がすき！夢をもち夢を語ることができる児童が育つ学校を目指す
----------	--	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	令和2年度は、中学校区で決めた「思考表現する力」の向上に重点をおいた取組を行ってきた。算数科を中心に、ICTを活用した取組において一定の成果が出たが、「思考・判断・表現」の分野で活用したり汎用したりすることに課題が見られた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学習面、生徒指導面、健康面それぞれについて制限のある取組となった。今年度は「思考・判断・表現する力」「協働的に関わる力」の育成をめざし、児童が関わりをもちながら課題発見・解決学習をしていく授業づくりを推し進める。また、児童会活動や縦割班活動をさらに活性化することにより、さらに自己肯定感を高めていく。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	「知識・技能」「思考・判断・表現する力」「協働的に関わる力」「地域の一員として関わる力」
-------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③ 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	(知) 「前より賢くなった！友達と学び合うことが楽しい」といえる児童の育成	①児童が主体的に課題解決に取り組む授業づくりを進める。	○考える授業づくりを推進する。 ○課題発見・解決学習の授業研修を行う。	○学期末評価テストの平均通過率(国・算・理) ○県学習意識等調査の質問紙(課題発見・解決学習に関わって)	85% 80%						
		②ICT機器を活用した授業改善を行う。	○ICT(シンキングツール等)の効果的な活用をする。	○ICT活用意識調査(教職員・児童)	80%						
** 豊かな心	(徳) 「友達大好き・自分大好き・音戸大好き」な児童の育成	③児童の自己肯定感を高める。	○大きな声であいさつができる「あいさつ○○」を認定する。 ○縦割り班の活動を充実させ、異学年同士の関わりを深める。	○校内審査などを元に選ばれる「あいさつ○○」の割合 ○交流の振り返りアンケートで「目標を達成した(☆3つ以上)」と評価をした児童の割合	30% 80%						
* 健やかな心身	(体) 「運動大好き・給食大好き・早寝早起き音戸っ子」の育成	④基本的な生活習慣の定着を図る。	○元気アップ週間を年3回実施する。 ○委員会活動で元気アップ週間の啓発活動を行う。 ○メディアコントロールに関する啓発活動を行う。	目標項目4つ「早寝・早起き・朝ご飯・メディアコントロール」を達成した児童の割合	80%						
		⑤運動に親しみ、体力の向上を目指そうとする児童を育てる。	○委員会活動で全校遊びを実施したり、多様な遊びを紹介したりする。 ○体育科の授業のはじめに、単元に合わせた運動遊びを行う。 ○教職員で様々な運動遊びの仕方やポイントについて研修をする。	児童アンケート「運動することが楽しい」と回答する児童の割合	75%						
業務改善	職員が、生き生きと働く職場づくり	⑥児童と向き合う時間を確保し、ゆとりと情熱をもって職務に励む環境づくり	○短縮日課の設定、業務の見直しを継続し、職員が集中して教材研究等に取り組む時間を確保する。 ○平日18時半、水曜日は17時半退校をめざし、職員のワークライフバランスを整える。	○職員が、「児童と向き合う時間が確保できた」と回答する割合。	80%						
				○時間外勤務が年平均45時間未満の職員の割合	80%						

【k:評価】
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60